

話題の講義ライブ
LIVE 2012

Today's Program いまヴァルター・ベンヤミンを読む I

TOKYO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES
東京外国語大学



国際社会学部 国際社会学科

5.11.Fri. at Fuchu
14:20~15:50
岩崎 稔 教授



ベンヤミンが残した哲学思想で練り広げる
無限のおもしろさを秘めた『思想のセツション』

講義の流れ 学生によって論点整理・問題提起されたベンヤミンのテキストについて議論する。
醍醐味 近年もつとも刺激的で示唆的な思想家として注目されてきたヴァルター・ベンヤミンを取り上げ、新しい問題を発見したり、自分の疑問や意見を表現する技法・作法を身につける。

教科書にはない、自分だけの答えを
全員が求めて表現し合う場

このゼミの風景を一言で表すならば、それは『思想のセツション』ということに尽きる。セツションというのは、例えばジャズでいえばピアノストが思いつきでメロディーを弾き始めると、そこにドラマーがリズムをつくり、ベーシストが音の深みを加えてゆく、というようないわゆる即興音楽だ。それをベンヤミンの哲学思想を用いて行うのである。よって単なる座学ではなく、全員が主役である。岩崎先生を囲み、20人ほどの学生が小さな教室で自らの思想を表現し合

う。哲学のゼミでありながら、決して内向的なイメージではない。まず、挙手がほとんど行われないのだ。誰も手を挙げない代わりに、誰もが口々に語り出す。時には討論であり、そしてそれは一時も止むことはない。哲学的な命題において、到達すべき答えはそもそもテキストが用意してくれているものではない。答のないものに自分で答えること、そのプロセスがすべてである。このゼミでは、すべての学生が自らの答えを出すために表現を合

一筋縄ではいかない難解なテキスト
ベンヤミンの『翻訳者の課題』に挑む！

ゼミは最初に「プロトコル」と呼ばれる、前回の議論を要約した記録を担当の学生が持ち回りで発表する。次にその回の担当者が予め指定されたテキストの論点整理と問題提起を行う。これも毎回違う学生が持ち回る。今回は『翻訳者の課題』である。ベンヤミンによれば翻訳者の課題とは、予定されている純粋言語の種を成熟させること、結果として、それぞれの翻訳者の時代における、原作の「死後の生」を表示することだといわれる。この難解な論点整理に対し、岩崎教授は「翻訳者の課題」というと文学的だけ、実はこれはテキストの文学理論ではなくて、すごく大きなものを隠している。それは歴史や現代世界をどう理解するかに及んでいる。正解を言うぞ、と意気込まず、それよりも突拍子もないアナロジーでもおおいに結構。妄想をふくらましてほしい」と述べる。

「哲学と聞くと、つい浮世離れして自分の内側を見つめるような視線を想像しがちですが、私は現代の問題に対して、もつとポジティブに可能性を持つて見つめる視線を持つてほしい、そんなことを思っています」と岩崎教授は話す。社会に出るといっても自分と世界の戦いの中にあると言えらるだろう。そのときに自分だけを見つめるのではなく、世界の中、世界の中で自分を見つめる視点



VOICES 学生の声
of University Students



山岡 美咲さん(左) 外国語学部 ドイツ語専攻3年
他の仲間や友達にはない、同じ興味や関心を持った人が集まっています。しかも、自分たちはちょっと詳しいかなと思ってい

田中 大樹さん(右) 外国語学部 アラビア語専攻3年
このゼミの主眼はベンヤミンの研究なんです。そのためのいろいろ方法・視点を学ぶことになりました。それはいわゆる遠鏡や顕微鏡のようなもので、自分が何か突き詰めたことができたときに、考えるための有用な道具になってくれる。そんな道具がたくさん出会う場です。

東京外国語大学

〔沿革・歴史〕

- 1873年 東京外国語学校(官立)開設。5学科(英・仏・独・露・清語)を設置。
- 1911年 新たに5学科(蒙古語、暹羅語、馬來語、ヒンドスタニー語、タミル語)を設置し13学科となる。韓語学科を朝鮮語学科に改称。
- 1916年 葡語学科を設置し、14学科となる。
- 1949年 12学科(英米、フランス、ドイツ、ロシア、イタリア、スペイン、ポルトガル、中国、蒙古、インド、インドネシア、シヤム)を設置。
- 1956年 専攻科の設置。修業年限1年。専攻課程「英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、蒙古語、ウルドゥ語、ヒンディー語、インドネシア語、シヤム語」の13専攻。
- 1977年 朝鮮語学科を設置。大学院地域研究科修士課程を設置。
- 1999年 独立百周年(建学百二十六年)記念式典挙行、「東京外国語大学史」刊行。ドナルド・キーン氏(コロンビア大学名誉教授)に最初の名誉博士学位を授与。府中新キャンパスに移転。
- 2000年 府中新キャンパスに移転。
- 2012年 言語文化学部と国際社会学部の二学部体制に改編。

〔オープンキャンパス情報〕

- ①7月28日(土) 10:00~17:00
 - ②11月23日(金・祝) 11:00~16:00
(外語祭同時開催中11/21(水)~25(日))
- ①②全体説明会、個別相談会、体験授業など。詳細は決定次第本学HPに掲載します。



いわさき みのる
岩崎 稔先生
早稲田大学第一文学部哲学科卒業(1982)、早稲田大学大学院政治学研究科(政治思想専攻)博士後期課程単位取得修了(1988)。1988-1989 日本学術振興会特別研究員PD、1988-1989 立正大学非常勤講師、1990~ 東京外国語大学外国語学部専任講師、1993 成蹊大学非常勤講師、1994~ 東京外国語大学外国語学部助教授、1995-1996 ケルン大学哲学部哲学科客員研究員、2005 ライプツィヒ大学日本学客員教授(NachkriegsJapan als Idee I,IIを担当)、2007~ 東京外国語大学外国語学部教授、2012~東京外国語大学国際社会学部長